



Yonago East Weekly

「一人ひとりが輝きを！ ロータリーに大きな輝きを！」

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 TEL (0859) 32 - 5531
●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 TEL (0859) 33-0911
●会長/高橋孝之 ●幹事/杉本真吾 ●会報/細田耕治

会員数 92名
(正会員 91名 名誉会員 1名)

今週のお祝い

夫人誕生日: 1日 古杉 淳君 3日 西上哲弘君
12日 長棟信泰君 19日 細田耕治君
21日 宮本 守君
結婚記念祝: 13日 松浦啓介君 19日 松浪昭二君
23日 小田浩一君

会長挨拶

10月19日 米子合唱フェスティバル[みんなで歌おう♪]が近づいてまいりました。[故郷・ふるさと]を皆様で合唱しましょう。

[故郷・ふるさと]の作曲家である岡野貞一氏は鳥取県出身で、作詞家は高野辰之氏です。この2人のコンビは童謡・唱歌を数多く作られています。

実は、ロータリーの[奉仕の理想]もこのコンビの作品です。岡野貞一氏は明治11年に生まれ、明治25年にキリスト教徒として鳥取教会で洗礼を受けています。讃美歌の影響もあったのでしょう。後に東京音楽学校に進まれています。

作詞家である高野辰之氏は、長野県中野市出身です。中野市を訪れてみると、[故郷・ふるさと]の歌詞である、♪兎追いしかの山～ の情景がそこにございました。

西尾知事の県政時代、鳥取県は童謡・唱歌の県にしたいということから童謡館(わらべ館)が出来て、いろんな運動に広がっていきました。

最後に10月19日(日)、当日会場を一杯にしたいという思いであります。会員に皆様方のご協力を得て、市民の皆様喜んで頂く、そして岡野貞一氏を偲ぶ。皆様のご協力をお願い致します。

幹事報告

1. 米子松蔭高等学校IACの顧問高嶋先生と部員の皆様来訪
2. 広島市安佐南区土砂災害復旧支援義援金 9/10 33,316円 本日も受付あります
3. 職業奉仕アンケート 9/24〆切
4. 9/24 観月夜間例会 19:15～
大山ロイヤルホテル
阿南南RC 22名参加
5. 11/23～24 第2回全国RC親睦卓球大会 イン出雲 (カミアリーナ)
6. 中海再生プロジェクトNEWS9月号
7. 例会変更のお知らせ
米子南RC 9/29(月)夜間例会 ビジター受付あり
鳥取中央 9/29(月)9/28(日)早朝例会 〃
米子南・鳥取中央 10/6(月)休会(定款第6条)
ビジター受付なし

今後の予定

- 10/5 地区大会本会議 (益田)
- 10/8 新入会員歓迎会 19:00～
(ワインレストランクス)
- 10/22 休会(定款第6条)
- 10/29 夜間例会



Light up Rotary
ロータリーに輝きを

<プログラム>

「米子松蔭高校インターアクトクラブ活動報告」

IAC顧問:高嶋博子先生 生徒:多田優希君(3年・前会長)
内田悠介君(3年・前副会長) 関 涼祐君(3年・前副会長)
佐伯友哉君(3年)河津尚明君(2年・現会長)
以上の皆様でスライド投影しながら報告されました。

インターアクトクラブ感想・抱負

ぼくが3年間で一番心に残ったことは、文化祭で行ったインターアクトバザーです。ロータリーの方々にはたくさんのどら焼きをはじめ、多くの物品を寄せていただき、ありがとうございました。ぼくたちで協力してすべて売り切り、売り上げの25,087円は募金やユニフォームの資金にする予定です。今年もバザーへのご協力、よろしくお願いします。ぼくはこの中で唯一、他の部活と兼部していたので、他のみんなよりも活動できた回数が少なかったですが、その少ない活動の中で多くのことを学びました。これまでの経験を社会に出てから活かせるように頑張りたいです。
(関 涼祐君 3年・前副会長)

この3年間で一番、思い出に残っていることは、2年生の時の、春の大山一斉清掃です。そのときは、開会式から雪が降っていて、とても寒かったです。でも、その雪が降る中、一つ一つゴミを拾い集める経験をしたことで、自然の大切さを学びました。

この部活に入ってから、家の掃除をするようになりました。部活を引退してからも、身の回りをきれいにしていきたいです。
(佐伯友哉君3年)

私はこの部活動を通じて、人に喜んでもらう喜びを学びました。その喜びを最も感じたのは、1000人ウォークでトリピーの着ぐるみを着て、参加者の方を応援したときでした。手を振った方々が笑顔で手を振り返してくれたのはとても嬉しく、きっと相手の方も気持ちよく手を振り返してくれていたのだと思います。

私はこの気持ちを大事にして、引退後も人に喜んでもらえるようなことをしたいです。
(内田悠介君 3年・前副会長)

僕は、この3年間で一番心に残っていることは、高校3年生のときの、芦屋学園高校のインターアクト部のみなさんと交流会をしたことです。そこでは、お互いの活動内容を話し合ったり、ゲームをしたりしました。お昼ご飯も一緒に食べ、午後からは駅の清掃をしたりと、たくさんの思い出ができました。

このような活動を通して、コミュニケーションの大切さを学びました。コミュニケーションは、社会に出て行く上でとても大切なことです。このインターアクト部の活動で得たコミュニケーション力を生かし、これから社会で頑張っていきたいと思います。3年間、ありがとうございました。
(多田優希君 3年・前会長)

ぼくたちは1年生5人、2年生6人、3年生5人、計16人でボランティアを中心とした活動をしています。これからは3年生が引退され、2年生を中心とする活動になります。その中でもぼくは、会長を任せられました。ぼくは会長としてまだ未熟で失敗することもあるかもしれませんが、一緒に活動をしていく仲間たちに支えられ、ぼく自身が部員のみんなを引っばっていきたくと思っています。これからもぼくたちインターアクト部一同がんばっていきますので、よろしくお願いします。
(河津尚明君 2年・現会長)

インターアクト活動報告

<佐伯友哉君3年>

始めに大山一斉清掃の報告をします。年に2回、春と秋に行われる大山一斉清掃に参加しています。大山まではロータリークラブの皆さんの車に毎年乗せていただきありがとうございます。僕は、今までに4回参加して、1番多いなあと思ったゴミがタバコとお菓子の袋でした。年々ゴミが減っているもののまだたくさんのゴミが落ちています。大山は米子市の観光地なので、誰が来ても心地よい場所にしていきたいと思います。3年間ありがとうございました。

ここでクイズです。

今年の大山一斉清掃で一番取るのが大変だったゴミはなんでしょう。

①スノーボード ②風呂釜 ③バッテリー 答えは③のバッテリーでした。粉々になっていたので取るのが難しかったです。これで大山一斉清掃の報告を終わります。

<内田悠介君 3年・前副会長>

次に皆生トライアスロンボランティアについて報告します。

今回、私たちがした仕事は、自転車で走る選手たちへ飲み物を準備して渡し、捨てられたボトルを回収することでした。飲み物の準備では、コーラやお茶などを選手に渡す専用のボトルに入れます。選手達は飲み終わったボトルを走行しながら専用のゾーンに捨てるのですが、捨てる時にフタが開いて中身が飛び出して来たり自分の方に飛んできたりと危険も多かったです。その中でも大変だったのは、ボトルを走行中の選手に渡すことでした。走っている自転車はとても速くて優勝者の谷信吾さんはもちろんダントツで、後ろの選手もとても速く、ボトルを渡すタイミングや選手に何の飲み物が教えるための声掛けは、とても大変でした。ですが、選手の「ありがとう」という言葉のおかげでとてもやりがいのある作業でした。ここでクイズです。

今回のトライアスロンの優勝者は誰だったでしょう。

①永島 正道さん ②宇田川 修一さん ③谷 信吾さん 答えは ③谷 信吾さんでした。これでトライアスロンの報告を終わります。

<河津尚明君 2年・現会長>

次にインターアクト地区大会の報告をします。

地区大会1日目に大蛇ボートに乗りました。中国地方一の大河『江の川』河口を、雄大な自然を感じながら、10艘の船を、1艘12人でこぎました。最初は、みんなとなかなか息が合わなくて、まったく進みませんでした。ですが、だんだん息が合ってくるにつれて、進んでいるなあ実感しました。風が強くて、中止になってしまいましたが、みんなと協力して、恐怖心を忘れてこぐことができ楽しかったです。夜には、石見神楽を鑑賞しました。賑やかな笛や太鼓の音楽によって神々の物語を再現し、豪華な衣装を着て舞う活発なテンポは、石見神楽の特徴(とくちょう)だそうです。ぼくもパンフレットや講演会でわかった気になっていましたが、実際に見た石見神楽はとても表現豊かで大迫力でした。

2日目には、班会議がありました。班会議では、各高校で行っているインターアクト部の活動内容を報告しあいました。その他に部活動での悩み、楽しかったことなども話し合いました。ここで得たことを、今後の部活に活かしていきたいです。

ここでクイズです。

第38回インターアクト地区大会で大蛇ボートが行われました。さて、雨天の場合はどこに行くはずだったでしょう。

①石見銀山 ②松江フォーゲルパーク ③しまね海洋館アクアス

答えは、③のアクアスでした。ぼくたちはアクアスにも行って見たかったです。これで地区大会の報告を終わります。

<多田優希君 3年・前会長>

次にゆうゆう壺番館について報告します。

月に1度、ゆうゆう壺番館さんにおじゃまさせていただいて高齢者の方々と交流をしています。高齢者の方々とトランプやパズルといった頭を使ったゲームや、風船バレーや玉入れといった体を動かして遊ぶゲームなど楽しい交流会をしています。そして交流会の最後にはみんなで歌を歌って終わっています。大変だったことは、目や耳の不自由な方とコミュニケーションがなかなか取れなかったことです。しかし、終わった時に、高齢者の方々が「ありがとう」と言ってくると、とても嬉しいです。

ここでクイズです

ゆうゆう壺番館で、あるお年寄りが高嶋先生に「きれいな先生」と声をかけました。そのあと、続けて何と言おうとしたのでしょうか。

①「私のほうがきれいだね」 ②「あ、間違えました」 ③「私、目が見えないの」

答えは③の「私、目が見えないの」です

これで、ゆうゆう壺番館の報告を終わります。

<関 涼祐君 3年・前副会長>

最後に、国際交流について報告します。

今年の7月に米子コンベンションセンターで行われた「国際交流の集い ようこそ地球村へ」というイベントに参加しました。中国や韓国、アメリカなど7か国から7人の方が来てくださり、一緒にショッピングやインタビューなどの体験をさせていただきました。ショッピングではそれぞれの国の通貨や言葉を使って伝統的な料理や工芸品を買うという体験をしました。ぼくはイギリスでお茶とチョコレートを買いました。この体験で様々な言葉を学びました。例えば、ベンガル語で「これください」を エタ チャイ と言ったり、ミャンマーで「こんにちは」を ミガ ラーパ と言うなど4種類のあいさつを学ぶことができました。

ぼくたちにとって初めての国際交流でしたがとても貴重な体験をさせていただきました。最後にクイズです。

ベンガル語で「これください」は何番でしょう。

①エタ チャイ ②ミガ ラーパ ③メルシー

正解は1番です。

クイズに参加いただきありがとうございました。

これで国際交流の発表を終わります。

